

算数オンライン塾 7月23日の問題 一場合の数一

1から10までの数が書かれたカードが1枚ずつ、計10枚あり、AさんとBさんの2人がカードを引き、それぞれ手元に置きます。このとき、次の問いに答えなさい。ただし、Aさんの手元のカードとBさんの手元のカードは区別するものとします。たとえば、Aさんの手元のカードが1と2で、Bさんの手元のカードが3と4である場合と、Aさんの手元のカードが3と4で、Bさんの手元のカードが1と2である場合は区別します。

(1) Aさん、Bさんが1枚ずつカードを引いたとき、Aさんの手元のカードとBさんの手元のカードの組み合わせは全部で何通りありますか。

(2) Aさん、Bさんが2枚ずつカードを引いたとき、Aさんの手元のカードとBさんの手元のカードの組み合わせは全部で何通りありますか。

(3) Aさん、Bさんが5枚ずつカードを引いたとき、Aさんの手元のカードに書かれた数の和がBさんの手元のカードに書かれた数の和より15だけ大きくなりました。このとき、Aさんの手元のカードとBさんの手元のカードの組み合わせは全部で何通りありますか。

(4) Aさん、Bさんが5枚ずつカードを引いたとき、Aさんの手元のカードに書かれた数の積がBさんの手元のカードに書かれた数の積の7倍になりました。このとき、Aさんの手元のカードとBさんの手元のカードの組み合わせは全部で何通りありますか。

【式と考え方】

(1)		(2)		(3)		(4)	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--